

看護倫理	3年・後期	1単位8コマ	教授 高橋ゆかり
科目カテゴリー	看護の統合	科目ナンバリング	34111083

1. 授業のねらい・概要

看護における倫理的な基礎知識および倫理的意思決定について学習する。

また、看護実践で遭遇しやすい倫理的ジレンマについて、多様な価値観に気づき、複眼的な見方、倫理規程の活用などにより倫理的感受性を高め、倫理的課題の解決に向けた調整能力を養う。

2. 学修の到達目標

1. 看護の職業的倫理を理解し、看護師の倫理的役割について考察できる。
2. 医療をめぐる倫理的課題に関心を持ち、多様な価値観から考察できる。
3. 看護実践における倫理的ジレンマとその対処方法について考察できる。

3. 授業の進め方

講義と演習を中心に進める。

4. 授業計画（講義・演習）

回	授業内容	授業形態	事前事後学修（学修課題）	担当
1	看護倫理の理念・倫理的意思決定プロセス	講義	予習：倫理の基本理論である功利主義、義務論、徳の理論についてまとめる。 復習：倫理的意思決定プロセスについて、自分の考えをまとめる。	高橋ゆかり
2	看護職者の倫理原則と倫理綱領	講義	予習：看護職者の倫理綱領とは何かをまとめる。 復習：看護職者の倫理綱領と倫理原則の関連をまとめる。	高橋
3	看護ケアにおける倫理的課題	講義	予習：看護ケアにおける倫理的課題とは何かをまとめる。 復習：看護ケアにおける倫理的課題について自分の考えをまとめる。	高橋
4	道徳的感受性を磨く：演習	講義 演習	予習：道徳的感受性とは何かをまとめる。 復習：自己の道徳的感受性を、事例を挙げて振り返る。	高橋
5	看護ケアと倫理①：事例検討 倫理的課題の抽出	演習	予習：看護実践で遭遇しやすい倫理的ジレンマとは何かをまとめる。 復習：看護実践で遭遇しやすい倫理的ジレンマに対する自分の考えをまとめる。	高橋
6	看護ケアと倫理②：事例検討 道徳的感受性	演習	予習：看護実践で遭遇しやすい倫理的ジレンマの事例を挙げる。 復習：予習で挙げた倫理的ジレンマ事例について、自己の道徳的感受性を振り返る。	高橋
7	看護ケアと倫理③：事例発表	演習	予習：多様な価値観とは、どのようなことかまとめる。 復習：事例発表を通して、自己の価値観と他者の価値観との相違について考察する。	高橋
8	まとめと試験	講義 試験	予習：看護職者の倫理綱領を覚える。	高橋

5. 成績評価の方法・基準

授業中の態度(20%)，定期試験(80%)を総合して評価する。再試験は実施しない。

6. テキスト・参考文献

参考文献：「看護師の倫理綱領」（日本看護協会）

7. 準備学習に必要な時間，又はそれに準じる程度の具体的な学習内容

シラバスの範囲をみて，関連するテキストで事前学習して望むこと。
毎回，授業計画の学修課題に沿って，最低2時間以上予習・復習し受講すること。

8. 受講上の留意事項

主体的，意欲的な授業への参加が重要である。遅刻，欠席および授業中の私語，授業中に授業に関連する作業以外の行動は，参加態度として評価対象とするので注意すること。

9. 課題に対するフィードバックの方法

定期試験の解答は試験後口頭等でフィードバックする。

10. 卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目との関連

必修科目であり，修得できない場合進級不可となる。

11. 実務経験のある教員等による授業科目

医療機関等における看護師としての実務経験を活かして，講義・演習を行う。